

## 防 除 情 報

長崎県病害虫防除所長

平成20年度病害虫発生予察 防除情報第1号

## 麦類赤かび病の防除対策について

本病は出穂期以降に気温が高く、曇雨天が続くと発生が多くなります。また、かび毒の汚染低減のためには防除徹底が重要です。出穂期以降の気象推移に十分留意して防除指導の徹底をお願いします。

記

## 1. 防除対策

- (1) 発病を認めてからの薬剤防除では効果が劣るので適期防除に努める。
- (2) 小麦、裸麦では開花最盛期（出穂期の概ね7日後）とその7～10日後に薬剤散布する。
- (3) 二条大麦では穂揃い期とその10日後（図：蒴殻抽出始め）に薬剤散布する。特に2回目の防除にあたる蒴殻抽出始めの時期に感染しやすいので防除時期を逸しないようにする。
- (4) 曇雨天が続く場合は、必要に応じて追加防除を行う。
- (5) 麦の生育ステージは圃場により異なるので圃場の見回りに努め、生育ステージを把握した上で防除を実施する。

参考 各品種の出穂期（長崎県総合農林試験場、諫早市）



図：大麦蒴殻抽出始め  
(九州・沖縄農研センター原図)

品種名	平年値		本年値（）は予測値	
	播種期	出穂期	播種期	出穂期
ニシノチカラ	11/17	3/30	11/26	(4/4)
ニシノホシ	11/17	3/29	11/16	(4/4)
イチバンボシ	11/17	3/30	11/16	3/30
御島稈	11/17	4/7	11/16	(4/8)
チクゴイズミ	11/24	4/7	11/16	(4/5)
シロガネコムギ	11/24	4/7	11/26	(4/5)
ミナミノカオリ	11/24	4/8	11/26	(4/6)

注) 平年値は過去5か年の平均値

本年値の出穂期は4月1日時点

## 2. 防除上注意すべき事項

薬剤の種類、麦種によって使用基準が異なるので、使用にあたっては収穫前日数に十分注意する。